町内会がつくる住みよいまち

地域活動の中核を担い、私たちの生活を身近で支えている町内会。市は、町内会と協働で、暮らしやすく魅力的なまちづくりを進めています。

地域を支えるつながり

通学時の子どもの見守りやごみ集積所の管理、地域の防災訓練など、私たちの日々の生活のさまざまな場面で中心となり活躍しているのが、町内会です。地域の方々がより安心して快適に暮らせるよう、住民同士で協力し合い、多岐にわたる活動を行っています。

町内会は活動の担い手不足や加入率の低下などの課題を抱える中、コロナ禍も重なって行事の中止が余儀なくされるなど、活動の継続が厳しい状況にあります。しかし、そうした困難がありながらも、地域のつながりを維持するため、感染症対策に配慮した防災訓練や住民の世代を超えた交流の機会づくりなど、工夫を重ねながら活動を続けています。また、コロナ禍を転機に、情報の伝達手段にSNSや電子回覧板を取り入れる等、新たな取り組みを始めた町内会もあります。こうした町内会の精力的な活動は、住みよい生活環境を守るとともに、地域の支え合いやまち全体の活力につながっています。

市は、町内会を市政の重要なパートナーと位置付け、協働でまちづくりを進めてきました。10月からは、コロナ禍での活動を後押しするため、町内会応援動画の作成等を通じて、町内会の活動やその重要性を広く発信します。

町内会活動に参加してみませんか

レクリエーションやお祭りなど、住民の交流の場をつくるのも、町内会の大切な役割の一つです。行事に参加することで、幅広い年代の人と知り合うきっかけになり、地域に顔の見える関係が広がります。近所に頼れる存在がいることは、とても心強いもの。それが災害時など、いざというときの助け合いにつながります。

誰もが安心して暮らし続けるためには、多くの人がその地域に関心を持ち、支え合うことが大切です。今は町内会にあまりなじみがない方も、地域清掃やイベントに参加するなど近所の方と交流しながら、住みやすい地域をつくっていきませんか。

仙台弁こけしが町内会を応援！

昨年創立50周年を迎えた仙台市連合町内会長会と連携し、町内会活動を応援します。「仙台弁こけし」が、動画で町内会活動を紹介するほか、市バス・地下鉄の車内広告などに登場します。詳しくは市ホームページ（10月25日公開）をご覧ください。

暮らしの味方！

町内会活動

地域の安全・安心を守る町内会の主な活動を紹介します

■「いざ」「もしも」の備え

防災・防犯・交通事故防止のため、日頃から防災訓練や地域パトロールなどを実施

■地域をきれいに

ごみ集積所の管理や、道路・公園の清掃、緑化活動等を行い、快適な環境を維持

■情報のお知らせ

町内会のお知らせや市の広報紙など、生活に役立つ情報を共有

■ふれあいの場づくり

高齢者や子どもの見守り活動のほか、住民の交流の場として、お祭りなどの行事を開催

よりよいまちへ！

インタビュー

地域の活性化に向け活動する町内会の方にお話を伺いました

折立学区町内会連合会
軍司啓（ひろ）会長

「つながり」を大事に

小学校で出前講座を開いたり、子どもたちの勉強を手伝ったりするなど、さまざまな年代の人が交流できる場を大事にしています。また、地域の安全・安心を守るため、雪かき隊や草刈り隊が、通学路を中心に活動を行っています。手伝ってくれる人もいて、こうした輪が広がればと思っています。

令和元年からは、毎年冬に「ライトアートin折立」を行っています。「折立地区にはお祭りがないので、何かできないか」という小学生の発案で始まりました。学校や市民センターなどを中心に地域で協力して運営し、子どもたちの手作りのイルミネーションやランタンが公園を彩ります。

来場者も年々増え、皆さん毎年楽しみにしています。幅広い年代が交流し、地域に関心を持つ機会になっていると思います。こうした地域の人との触れ合いを通して、折立地域が子どもたちにとってのふるさとになっていってくれたらうれしいですね。

▲ライトアートin折立（令和３年）

地域の集会所では、趣味のサークル活動も盛んに行われています。住民同士でお話ししながら、趣味を楽しむことは健康や生きがいにもつながります。地域で安心して暮らし続けるには、横のつながりが大切。コロナ禍でなかなか思うように活動することが難しいですが、つながりが絶えないよう、地域での交流を続けていきたいです。

桂連合町内会
山本満充（としみつ）会長

地域の「楽しみ方」を見つける

桂地域では、「桂デジタルコミュニティ」と名付けたシステムを導入しています。スマートフォンを使って、町内会や社会福祉協議会などの団体同士で、防災物品の備蓄一覧やイベントなどの地域のお知らせを一斉に共有できるものです。速やかに情報を発信できるので、災害時の連絡にも役立ちます。戸別訪問と組み合わせて活用する要援護者支援の仕組みも考えています。デジタル機器に苦手意識のある方にも慣れてもらえるよう、市民センターと連携して講座を開き、皆さんが活用できるよう取り組んでいます。

◀桂デジタルコミュニティ

また、「桂音頭」の復活にも力を入れています。桂の魅力を歌ったこの音頭を地域の宝として育み、後世に伝えていきたいという思いから、「桂音頭を踊り隊」を立ち上げ、歌詞や振り付けをみんなで考えた令和版「桂音頭」を制作しました。ポップス版も作って子どもたちに踊ってもらったり、高齢者の健康体操に取り入れたりしながら、幅広い年代に広めていきたいと考えています。

コロナ禍で町内会活動を見直すきっかけになった一方で、みんなで集まり話し合う大切さも実感しました。地域の中で多くの人と出会い、楽しみを見つけながら活動しています。まずはできることから、少しずつやってみる。それが、地域全体の活性化につながるのだと思います。

町内会に加入するには

お住まいの地域の町内会長や役員・班長にご連絡ください。連絡先が分からない場合は、区役所・宮城総合支所まちづくり推進課、秋保総合支所総務課（☎は９ページ）にお問い合わせください。

この特集に関するお問い合わせは、地域政策課
☎214･6129、FAX214･6140